

# STUDENTS

つくばスチューデント

2008年2月号



第一エリア松見上池

平成20年度課外活動団体三系委員長&スポーツ・デー局長あいさつ

つくばの仲間たち

学群生の目／大学院生の目／卒業生だより

連載：キャンパスの木々（9）

インターネット版つくばスチューデントURL  
<http://www.tsukuba.ac.jp/public/students/>



筑波大学  
University of Tsukuba



## 連載：キャンパスの木々（9）

### ハンノキ（榛の木, *Alnus japonica* (Thunb.) Steudel)

上條 隆志（生命環境科学研究科 国際地縁技術開発科学専攻 講師）

#### 冬に咲く

筑波大学内の樹木には真冬に開花するものはいくつかあり、よく目立つのは常緑広葉樹のツバキやサザンカです。今回紹介するハンノキも、目立たない地味な花ですが1月には開花します（写真1）。ツバキやサザンカは11月くらいから咲きはじめますが、年明けになって一番に咲き出す樹木はハンノキです。

ハンノキはカバノキ科ハンノキ属の落葉広葉樹であり、ブナ科やヤナギ科などと同様に、小さい多数の雄花からなる尾状花序<sup>注1)</sup>をつけるのが特徴の一つです。ハンノキは長さ2から3cmのソーセージ型をした雄花の花芽と長さ5mm弱の雌花の花芽をつけて越冬します。年明け頃、この雄花の花芽は長く伸びてゆき、花粉を出すようになります（写真1）。遠くから見るとたくさんの小さな短冊が枝から垂れ下がっているように見えます。また、風に吹かれると揺れるので開花したことを確かめることができます。一方、雌花序はたいへん小さいのですが、開花すると赤く色づきます。花は1月から2月に咲きますが、若葉が出てくるのは春まで待たなくてはなりません。葉は長さ2から5cmで不ぞろいの鋸歯があります。果実は松ぼっくりを小さくしたような形（写真1）をしており、秋に熟します。この果実は春先までついでおり、冬の間、大変目立ちます（写真1）。

#### ハンノキの分布

ハンノキは九州から北海道、台湾、朝鮮半島、中国、極東ロシアに分布する代表的な水辺や湿地の樹木です。筑波大学学内でも松美池や天久保池などの水辺にハンノキが生育しています。また、長野県南牧村にある本学の八ヶ岳演

習林内にはイネ科のヌマガヤからなる湿原があり、それを取り囲むようにハンノキの湿地林が成立しています（写真2）。このような湿地や水辺の他、山間の水田の耕作放棄地などにもハンノキ林が成立します。

#### 過湿環境とハンノキ

植物は水なしでは生きてゆくことはできません。しかし、湿地のような過湿な環境もまた樹木にとって決して好適な環境とはいえず、ハンノキやヤチダモなどの限られた樹種のみが生育することになります。これは、過湿な土壌条件では樹木の根が酸素不足になるためと考えられています。ハンノキはこのような根の酸素不足を補うため、幹に不定根<sup>注2)</sup>を発生させることや、幹の皮目<sup>注3)</sup>を発達させることによって、地上から取り込んだ酸素を根に送り込んでいると考えられています。

#### 参考文献

- 『原色日本林業樹木図鑑第2巻』、倉田悟、1968、地球社。  
「湿地林」、pp.95-137、富士田裕子、『水辺林の生態学』崎尾均・山本福壽（編）、2002、東京大学出版会。  
「湿地林樹木の適応戦略」、pp.139-167、山本福壽、『水辺林の生態学』崎尾均・山本福壽（編）、2002、東京大学出版会。

注1) 尾状花序：多数の花が軸に沿って穂状につく花の集団のこと。

注2) 不定根：根部以外から発生する根のこと。

注3) 皮目：幹などの樹皮に形成される通気組織のこと。



写真1 ハンノキの花（2008年1月に学内で撮影したもの）。雄花は開花して、長く下に垂れ下がっている。

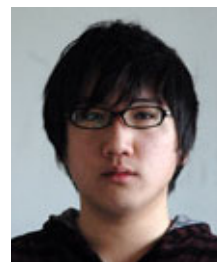


写真2 筑波大学農林技術センター八ヶ岳演習林にあるハンノキの湿地林。手前はヌマガヤの湿原。

# 平成20年度課外活動団体三系委員長 & スポーツ・デー局長あいさつ

## 文化系サークル連合会第33期運営委員長

井上 正登 (学生ボランティアセンターピアラ 副代表  
第一学群 人文学類 2年)



こんにちは。この度文化系サークル連合会（以下、文サ連）第33期運営委員長に就任いたしました第一学群人文学類2年の井上正登です。文サ連に加盟している「学生ボランティアセンター ピアラ」というサークルに所属で副代表をしております。

文サ連は、一言でいえば、文化系の課外活動団体が加盟している組織です。現在は40を越えるサークルが加盟しており、その構成員も1,000人を越す大規模なものです。文サ連の主たる業務としては、加盟しているサークルに印刷機、掲示板の使用、物品の貸し出しといった設備的な面でのサービスを提供したり、財政面や広報面でのサポートを行ったりといったようなサークルの活動を支援することが挙げられます。これらは、文サ連の運営委員会の執行部を中心に行なわれています。

また、文サ連は発足以来30年以上の歴史を持つ伝統のある組織でもあり、これまでの長い歴史の中で、筑波大学における課外活動の発展に寄与してまいりました。今後とも文化系課外活動を、筑波大学内外において積極的に推進していこうと考えています。

最近の文サ連の動向を考えると、今期から旧図書館情報大学を由来とするサークルを取りまとめた春日支部がなくなるなど、その取り巻く環境が常に変化していることがわかります。このような状況の中、文サ連という大規模かつ伝統のある組織を運営していくことは、私個人の能力だけでは当然のことながら不可能なことです。

しかしながら、周囲には、顧問の矢澤真人先生をはじめ、大学の教職員の方々や紫峰会の職員の方々、文サ連の執行部、そしてサークルに所属している学生というように私を支えてくださる方が大勢います。周囲の協力や助言を得ながら、よりよい方法を常に見つけていくという姿勢で年間運営を行なっていきたいと思えます。

私は、各サークルの代表者を前にした所信表明の中で、文サ連を運営していく上で「サークルのための文サ連であること」と「文サ連・文サ館（文化系サークル館）」をもっと効率的に活用してもらうこと」という二点を今期の重点的な目標に掲げました。文サ連に加盟している全てのサークルにとって、私たち文サ連が必要とされる組織でいられるように努力していきたいと思えます。また、私自身も運営委員長であると同時に、一サークルに身を置く者として、様々な角度から文サ連というものを見つめていきたいと思えます。

## 体育会第32代執行委員会委員長

前場 雄一 (蹴球部 体育専門学群 3年)



本年度、筑波大学体育会第32代執行委員会委員長を務めさせていただきます、体育専門学群3年蹴球部所属、前場雄一と申します。私は昨年度会計局長を務め、一昨年度は運営委員を務めておりました。体育会に携わって本年度で3年目になります。2年間の経験を活かし、頑張っていきたいと思っております。

現在、体育会には部会団体が42団体、同好会団体が14団体、医学支部団体が20団体所属しており、全団体の構成員は3,350名を越えています。日本でも有数の規模ではないでしょうか。所属団体の中には日本一に輝く団体も数多く存在し、日本のスポーツ界の一役を担っています。一方で、スポーツ

未経験者でも存分に楽しめる団体もあります。筑波大学の体育会には本当に様々な団体が存在しているのです。そのような良い面があるのですが、その良い面を十分に生かし切れていないと感じています。それは団体内部の交流はあるのですが、団体間の交流があまりないことです。せっかく個性豊かな団体が数多くあるにもかかわらず他団体には無関心になっているように感じます。団体間の交流が活発で、お互いの良い部分は吸収し、問題点は知恵を出し合い解決し、競技面では互いに切磋琢磨し向上することが体育会の望ましいあり方なのではないかと思います。それらが実現できるより良い体育会を目指し、執行委員を中心とした3,350人全員が協力していかなければならないと思っています。

しかし、現状として、その改革の先頭に立つべき執行委員は体育会の激務と所属団体の活動で一杯の状態です。その状態を打開するため、執行委員が少しでも日常業務以外にも目を向けられる時間と心の余裕を作ることが委員長の仕事ではないかと思います。そのために、執行委員の仕事量を見直し、体育会構成員の体育会に対する理解を深めていきます。そして、1年後には体育会全体の交流が盛んになったと言ってもらえるような、そんな1年にしていきたいと思っています。

教職員の皆様、三系、全代会等の組織の皆様、そして筑波大学OBOGの皆様、保護者の皆様、これからも我々は体育会のため、ひいては筑波大学の発展のために全力を尽くしていきたいと思っております。一年間何卒よろしくお願い致します。

#### 芸術系サークル連合会第32期運営委員会委員長

山田 悠貴（津軽三味線倶楽部無絃塾 工学基礎学類 2年）



こんにちは。このたび芸術系サークル連合会第32期運営委員長に就任いたしました。工学基礎学類2年、津軽三味線倶楽部無絃塾に所属しています山田悠貴です。おかげさまで芸術系サークル連合会（以下芸サ連）は今年で32年目を迎え、芸術の面から筑波大学を盛り上げるべく日々活動をしています。長い歴史と伝統の重みを感じつつも、それに縛られることなく今を大切に、さらなる飛躍を目指して頑張っていきたいと思っています。

まず、芸サ連とはどんなところであるのかについて少しお話ししたいと思います。現在芸サ連には28のサークルが所属しています。芸術系という名の通り、所属しているサークルは伝統芸能、演奏、演技、発表、展示などの、何かを表現したり、伝えたりする活動を行っています。このような芸術を表現するサークルが連合会として組織立っているのは、なんと筑波大学だけです。なぜ存在しているのかというと、筑波大学の長い歴史の中で「まとまって何かを発信したい」という意識が根底にあったからだと思います。これは芸サ連の主催行事でのコラボレーション企画に現れています。主催行事は学外向けとしては、センター周辺で行う「つくば芸術祭」や、筑波大学構内にある開学記念館で行う「天上大風」、学内向けとしては、「芸サ合同新歓」、「クリスマスコンサート」、また芸サ連内の交流の場として「芸サレク」というものがあります。芸サ連という筑波大学にしかない組織があるからこそできるこの様々な行事を、是非一度見に来てください。

私は昨年度、財務局長という立場で芸サ連に関わってきました。正直に言いますと、芸サ連の一つの局である財務局をまとめる、業務をこなすだけで一杯一杯でした。サークルの仲間をはじめ、芸サ連執行部、紫峰会の職員の方々、本当に多くの人たちに助けられてばかりの一年でした。そんな私が今年度は芸サ連のトップである運営委員長です。今は、運営委員長として何ができるのか何をすべきなのか、ただただ思いをめぐらす自問自答の毎日です。芸サ連をどうにかしたいという溢れんばかりのこの思いを、第32期の執行部を中心に、芸サ連のサークルをはじめ、同じ課外活動団体である文サ連、体育会に発信し、ゆくゆくは筑波大学の芸術活動に影響を与えられるように頑張っていきたい

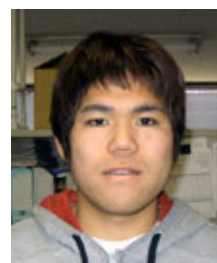
です。

しかし、この熱い思いとは裏腹にここまで大きい組織になると、現状を維持することだけでも大変で何か新しいことに取り組むことが困難になっています。今後、芸サ連がサークル活動、学生生活をしていく上でより良い組織となるためにも、芸サ連の組織そのものを見直し改善していく必要があると思っています。昨年度、執行部OBの方を中心に動き出し、結果として今年度新しい局が増えるに至りました。運営委員長である私としては、この意思を継承し、芸サ連のさらなる成長に尽力していく所存です。

私は大変未熟で周囲に助けられてばかりです。しかし、元気だけは誰にも負けません。元気があれば何でもできるという思いで、一年間頑張っていきますので、どうぞよろしくをお願いします！

### 第32代体育会スポーツ・デー局長

田村 俊和 (医学ハンドボール部 社会工学類 2年)



はじめまして。第32代スポーツ・デー局長を務めさせていただきます，社会工学類2年，医学ハンドボール部所属の田村俊和です。

スポーツ・デー局がどんなことをしているのか知らない人がほとんどだと思います。ここでスポーツ・デー局について少しでも知って頂けたら嬉しいです。まず、スポーツ・デー局は体育会の執行委員会の局の中の一つです。主な仕事はスポーツ・デーに関わる組織のパイプ役となることです。スポーツ・デーはスポーツ・デー学生委員会や体育会，大学や紫峰会など様々な組織によって運営されています。これらの組織間の情報伝達を行い，スポーツ・デーをより円滑に進めていくのがスポーツ・デー局の仕事です。

ではスポーツ・デーが何か知っていますか？スポーツ・デーとは春と秋に行われるスポーツに関する筑波大学唯一の学内行事であり，今年で32回目の開催になります。スポーツ・デーではソフトボールやバスケットボール，サッカーや駅伝など毎年白熱した試合を展開する正式種目や，多くの人を楽しんでもらえるように企画されたSD選手権，ストラックアウトやミニサッカーなど気軽にスポーツを楽しむことが出来るSports Fieldの2つからなる学生委員会企画，そしてサークルが主となり，普段見ることのない競技やなかなか体験できない競技に接することが出来るサークル企画があります。現在，スポーツ・デー学生委員会では参加者の皆様に全力で楽しんでいただけるようにそれらの企画を練っているところです。

そもそもスポーツ・デーの目的には『学生にスポーツ活動の機会を与えることにより，健康，かつ，明朗な大学生活の充実に資するとともに，学内スポーツ活動の振興に寄与することを目的とする』とあります。今年のスポーツ・デー学生委員会は『新たな参加者層の開拓』という目標を掲げ，より多くの筑波大生にスポーツの機会を与え，スポーツを楽しんで頂きたいと思っています。しかし，今年は陸上競技場が改修工事のため使用できません。参加者の皆様にはなにかと不便をかけることになると思いますが，これをチャンスだと思い，例年にはない新しい形のスポーツ・デーを作り上げていきたいと思っています。

スポーツ・デーの楽しさは参加してみないと分かりません。春季スポーツ・デーは5月17日と18日，秋季スポーツ・デーは10月25日と26日，合計4日間開催されます。参加者の皆様の熱い戦いと笑顔を見るために私達も全力で企画を考えています。楽しみに待っていてください。

# 平成20年度 課外活動団体 三系役員

## 【文化系サークル連合会運営委員会】（運営委員会室：文化系サークル館1階 ☎4858）

役職	氏名	所属サークル	学 類	年次
委員 長	井上 正登	学生ボランティアセンター ピアラ	人文学類	2
副委員 長	阿波連良尚	アマチュア無線クラブ	情報学類	2
副委員 長	森谷 直也	筑波大鉄研「旅と鉄道の会」	教育学類	1
総務局長	湊 業未	映画研究部	生物資源学類	1
書記局長	伊藤 紘治	SF研究会アルビレオ	情報科学類	1
設備局長	宮部浩太郎	現代視覚文化研究会	情報科学類	1
財務局長	大澤祐美子	茶道同好会	生物学類	1
広報局長	風間 善光	写真部さくら組	社会工学類	2
渉外局長	小笠原一樹	つくば鳥人間の会	生物資源学類	1
幹 事	竹下 舞	社会福祉研究会	人間学類	3
〃	衣川 洋史	漫画研究会	工学システム学類	3
〃	茂木 瞳	園芸クラブ	図書館情報専門学群	2
〃	大塚 智也	法学会研究会桐法会	日本語・日本文化学類	2
〃	岸 洋輔	SF研究会アルビレオ	比較文化学類	3
〃	小嶋 梓	山岳旅の会	自然学類	2
〃	上村 和司	現代視覚文化研究会	人文学類	2
〃	杉本 明広	つくば鳥人間の会	自然学類	2
〃	上岡 真士	ULIS Chorus	図書館情報専門学群	4

## 【体育系執行委員会】（執行委員会室：体育系サークル館2階 ☎2589）

役職	氏名	所属サークル	学 類	年次
委員 長	前場 雄一	蹴球部	体育専門学群	3
副委員 長	黒川 貴洋	ラクロスクラブ	自然学類	3
副委員 長	稲村 拓也	ハンドボール同好会	生物学類	2
広報局長	石川 桂	蹴球部	体育専門学群	2
渉外局長	田原 聖悟	卓球部	情報学類	2
企画局長	高須 裕輔	ワンダーフォーゲルクラブ	生物学類	1
総務局長	鈴木 秀明	サイクリング部	人間学類	2
スポーツ・デー局長	田村 俊和	医学ハンドボール部	社会工学類	2
会計局長	山川 晋弥	陸上競技部	自然学類	2
財務局長	神田 靖彦	陸上競技部	社会学類	2
施設局長	菊地 馨	アメリカンフットボール部	人文学類	1
書記局長	板谷 悠人	空手道部	情報学類	2
筑波スポーツ編集部	平岡 美香		社会学類	2
医学局長	藤岡 功	医学スキー部	医学専門学群	2
幹 事	飯塚みさき	ラグビー部	日本語・日本文化学類	3
〃	徳久 航	男子ハンドボール部	体育専門学群	2
〃	染谷 健太	ゴルフ部	社会工学類	2
〃	長手 華子	鹿島神流武道部	人文学類	2
〃	井川 史彬	男子アイスホッケー部	体育専門学群	2
〃	平野 拓己	医学サッカー部	医学専門学群	2
〃	棚橋 省午		社会学類	2
〃	井上 悠		工学基礎学類	3

## 【芸術系サークル連合会運営委員会】（執務室：文化系サークル館2階 ☎2995）

役職	氏名	所属サークル	学 類	年次
委員 長	山田 悠貴	津軽三味線倶楽部無絃塾	工学基礎学類	2
庶務担当副委員 長	袖山 広輝	フォルクローレサークル南	図書館情報専門学群	2
企画担当副委員 長	青木 健将	ミュージカル集団ESSASSA	工学システム学類	2
総務局長	赤間 習子	混声合唱団	障害科学類	1
財務局長	大島 美月	吹奏楽団	看護学類	1
会計局長	久保田洗平	落語研究会	社会学類	1
広報局長	宮木 祐任	ときめき太鼓塾	社会工学類	1
幹 事	長谷川一樹	劇団竹蜻蛉	生物資源学類	3
〃	堀江 咲月	邦楽部	人文学類	3
〃	石当 薫	JAZZ愛好会	情報学類	2
〃	小川 真	合唱団むくどり	工学システム学類	2
〃	若狭 博子	人形劇団NEU	芸術専門学群	3

# つくばの 仲間たち

## 点字サークル「てんつく」

つねすみ  
常住 紗織 (第二学群 比較文化学類 2年)



こんにちは、てんつくの常住です。今回は、サークル名からは想像しにくい私たちの活動について紹介させていただきます。

### てんつくとは？

「サークル何やってる？」と聞かれたとき、「てんつく」と答えると、たいていその後説明を求められます。擬音語と勘違いして太鼓をやっているサークルかと思っていた方もいましたが、てんつくという名前は、「筑」波大「点」字サークルの略称が由来となっています。

名前どおり、普段はみんなで楽しくしゃべりながら、点字の五十音や分かち書き（点字を打つときの語句や単語の区切れ）を勉強したり、自分たちで持ってきた本などをもとに点字を打つ練習をしたりしています。

一口に点字を打つといっても、自分たちで一点ずつ点字を打つアナログな方法はもちろん、点字用のタイプライターを使ったり、パソコンの専用ソフトを使うなど、いろいろなやり方があります。また、点字を打つとき、「右回り」は「みぎまわり」とそのまま打つのに、「左回り」は「ひだり・まわり」と一マス空けなくてはならない決まりがあるなど、点字の世界は意外と奥深いもので興味は尽きません。

### 主な活動

普段は、みんなでのんびり点字を打ちつつ、視覚障害について勉強をして理解を深めています。また、年に3回ほど点懇会というイベントに参加し、他大学との交流も行っています。点懇会とは、関東圏大学の点字サークルのための交流の場です。加盟サークルのある大学に集まって、視覚障害者の方の公演を聞いたり、ブラインド体験をしながらみんなでゲームをしています。去年は触地図（凹凸のある地図）を用いてウォークラリーをしたり、点字の絵本を作って視覚障害の方にプレゼントしたりしました。

雙峰祭では、毎年メンバーで分担して学祭パンフレットの点訳を行ったり、ブラインド迷路を企画・出店しています。迷路では、お客さんにアイマスクをしてもらい、白杖を持って迷路の中を進んでもらいます。途中自転車が道を塞いでいるところでは、ほとんどの方が混乱して方向を失い、点字ブロックの上の駐輪自転車が視覚障害者にとってどんなに邪魔になるか理解していただきました。今年度はペタンラリーに参加したため、たくさんの子供さんにご来場いただきました。

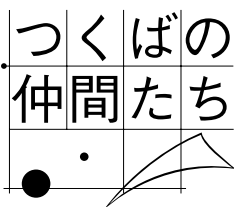
### 最後に

以上、てんつくについて説明させていただきましたが、私たちの活動をこの紙面上で語りつくすことはできません。興味をお持ちになった方は、水曜日の19時～21時に文化系サークル館1F右奥てんつくブースに是非一度いらしてください。障害科学類の方以外でも気負いなさる必要はございません。かく言う私どもは、教育・自然・社工など、全員が障害科学以外のものを専門としています。

最後に、てんつくからのお願いです。筑波大生にとって自転車は必須のものだということは承知していますが、駐輪する際は点字ブロックを避けるようにしてください。筑波大にも視覚障害を持つ学生さんが十数人ほどいらっしゃいます。障害学生の方々が安全に学内を移動できるよう、皆様のご協力をお願いします。



活動風景



## 私たちの活動 筑波能・狂言研究会

坂田 恵子（筑波能・狂言研究会 図書館情報専門学群 4年）

こんにちは。私たち筑波能・狂言研究会は実際に能・狂言を演じることを目標に日々練習に励んでいます。月に1～3回ほどプロの先生にご指導して頂いています。希望者はお囃子も習うことが出来ます。

### 普段の活動

練習場所である開学記念館は、生垣の後ろにひっそりたたずむ和風建築。赤茶色い煉瓦の外観で統一された筑波大学の中では異色の建物です。

普段は謡と舞の練習が中心です。大きな声を出して謡ったり、舞の練習で足を踏み鳴らしたりすることもあります。しかし、開学記念館では大きな声を出しても、囃子の練習で音を響かせても、近所から迷惑がられることはありません。また、私たちのほかにも伝統文化系のサークルの活動場所となっています。

時には、プロの先生のお稽古の後に食事会を催すこともあります。いつも行かせて頂いているお店では、季節の食材をつかった料理を堪能しています。美味しい料理と楽しい話で、いつもは無口な人も声を挙げて笑ったりととても盛り上っています。また、本職の方々の公演を観劇に行くこともあります。なかなか見ることのない演目やプロの演技を見ることで、自分たちの参考に出来たらと思っています。もちろん、自分たちが勉強するだけでなく純粋に楽しんでもいます。

### 公演

舞台は、新入生を迎えるための新歓公演、一年生の初舞台となる秋公演、卒業生を送り出す卒業公演があります。

これらの定期公演のほかにも他団体との合同企画など数多くの公演をしています。秋には近隣の地区の方々が活動されている会との合同で発表会に、また、春と秋には伝統文化系サークルと合同企画である「天上大風」に参加し、能・

狂言の世界を色々な方に知っていただけたらと思っています。中でも、卒業公演は実際に舞台上で使われる装束をお借りし、舞台も市のホールで行うなど、一段と華やかな公演です。卒業生にとってはこれまでの集大成であり、下級生にとってもその1年間練習してきたことを発表する場となります。写真は前々回の卒業公演での一場面です。

今年度も卒業公演の時期が近づいてきて参りました。現在、それぞれが公演のに向けて一心不乱に練習中です。

2007年度卒業公演「彩々（いろいろ）」  
公演日時：2008年3月15日（土）  
14：00開場 14：30開演  
公演会場：つくばカピオホール  
入場無料  
主な演目：狂言「仏師」  
舞囃子「船弁慶」 他

これが私たちの精一杯という舞台を皆さんにご覧に入れたいと思っております。ぜひおいでください。お待ちしております。

### 連絡先

詳しい情報やお聞きになりたいことがありましたら、研究会のHP、またはメールでお問い合わせください。

HP：<http://www3.to/nokyo>

Eメール：[nokyo@livedoor.com](mailto:nokyo@livedoor.com)



卒業公演「はなえみ」より  
狂言「附子」の一場面

# 社会福祉研究会 「学生ボランティア団体助成金」表彰式の報告

中澤 秀治（人間学類 3年 社会福祉研究会 前会長）

この度、私たち社会福祉研究会は財団法人学生サポートセンターによる平成19年度助成金団体に採択されました。2月5日（火）に青山ナジックプラザホールで贈呈式が行われ、10万円の援助金を頂くことができました。

この援助金は、財団法人学生サポートセンターが自由な発想と行動力によって社会貢献を計画・実行している学生団体を対象に、組織の活性化やネットワーク作りなどを経済的に支援し、あわせてリーダーシップの育成効果を期待して創設したものです。今年度、援助金の採択を受けたのは全国の50団体、個人部門では23件です。では私たちが今回採択して頂けた活動内容について、その概要をご説明したいと思います。

## 「社会福祉研究会」とは？

「社会福祉研究会」という団体名のため、「何か難しそうなおことをやっついそう…」と思われがちですが、平たく言えば私たちのサークルでは「ボランティア活動」をしています。社会福祉研究会は昨年で発足から33年を迎え、会員数271名からなる大きなサークルです。現在は大きく分けて以下の4つの分野、計8つのグループで活動をしています。

- ①児童養護施設で子どもに学習指導を行うグループ（4つ）
- ②知的障害者更生施設で利用者さんとレクリエーション活動を行うグループ（2つ）
- ③特別養護老人ホームでお年寄りとの交流や職員さんの手伝いをするグループ（1つ）
- ④中学校における総合的な学習の時間のサポートをするグループ（1つ）

活動日・活動場所はグループによって異なりますが、つくば市近隣の施設および学校を、概ね週に一度訪問しています。

## ボランティアって難しい？

そんなことはありません！私たち会員のほとんどは、大学に入ってから初めてボランティア活動を始めました。今でも試行錯誤をしながらですが、子どもたち・利用者さん・職員さんと楽しく時間を過ごしています。

ボランティア活動は、人と接することが嫌い

でない人になら誰にでも出来ることだと思いません。身構える必要はありません。皆さんも気軽な気持ちからボランティア活動を始めてみませんか？きっと素敵な出会いが待っていると思います。

## グループを越えた取り組み

- ・学園祭での活動報告および福祉分野の広報活動
  - ・学園祭への子ども・利用者さんの招待（パフェの無料提供・子供たちの遊び場の開設）
  - ・つくば市社会福祉協議会主催「青少年サマーカーキャンプ」の企画・運営（昨年度は20数名の小中高生がボランティア活動を体験）
- 人によっては上記のような活動にも参加しています。いろんな関わり方ができますよ。ボランティア体験もできます。活動に興味がある方は気軽にご連絡ください。

<http://wiki.livedoor.jp/syafuku/d/FrontPage> (HP)



学生ボランティア団体表彰式会場にて



老人ホームでの交流



## 平成19年度 卒業制作展・修了制作展に寄せて

津守 都 (芸術専門学群 4年)



平成19年度筑波大学芸術専門学群卒業制作展・芸術研究科修了制作展(以下卒展・修了展)が、2月5日から24日まで開催されています。

私は今年度、芸術専門学群の4年生として、同級生と共に卒展・修了展運営委員会(卒修展ワーキンググループ)の総括を担当させて頂き、力不足ながら卒修展会議の司会や全体のまとめ役等をして参りました。

さて、この原稿を書いている現在は、卒展前期(芸術学専攻・美術専攻の展示)が開始したところです。後期(構成専攻・デザイン専攻の展示)や修了展を待つ学生の中には、ぎりぎりまで根気強く制作を行っている学生も少なくないのではないのでしょうか。

### 展覧会までの9ヶ月

卒修展ワーキンググループでは、卒修展の広報、各種デザイン、web制作、搬入出・陳列計画、会計、アンケート及び受付、作品集制作まで、卒修展運営全般に関わることを、各専攻で分担し、昨年の6月頃から活動してきました。活動の中心となっているのは、学群の4年生と修士の2年生、つまり展覧会の出品者たちで、彼らは作品制作と展覧会運営の双方に関わってきたのですから、相当な思い入れのつまった展覧会です。

また、卒展・修了展は異なる専攻が共に展示を行う場であるため、出品者どうしも展覧会で初めてお互いの作品を見るということも多く、多種多様な作品が初めて一同に会すであろう、その瞬間に、期待は高鳴っていきます。

### 展覧会での人の交わり

夜中まで制作や準備をしていた日々を乗り越え、ついに搬入・陳列の日を迎えることとなり、その翌日、ようやく卒業制作展が始まりました。平日であったのにもかかわらず初日から大盛況で、大変多くの方々にご来場頂きました。そんななか会場におりますと、一般の方から自他の作品に関して質問を受けることも多く、その質問から新たな発見が生まれるということも少なくありませんでした。

また、会場内では、出品者とその家族や友人・知人の懇談する姿も目立ち、賑わいを添えていました。筑波大学の学生は、親元を離れて暮らす者がほとんどですが、その大学生活の最

後に、離れて暮らしていた家族や友人、また、大学生活の間につくばの地で得た友人・知人との、再会と語らいの場を、この様なかたちで得られるということは、何とすばらしいことだろうと感じました。展覧会場で各々の作品を眼の前にして、仲間と、その大切な人々の笑顔が交錯する様子を見ると、震えるような感動を覚えました。

最後になりましたが、展覧会にお越し頂いた皆様、展覧会を支えて下さった皆様、お世話になった先生方、本当にありがとうございます。本年度の卒展・修了展が、搬出完了まで事故や怪我人等なく、無事成功を収めることを祈って、また、これから巣立っていく仲間たちの活躍を願って、結びとしたいと思います。



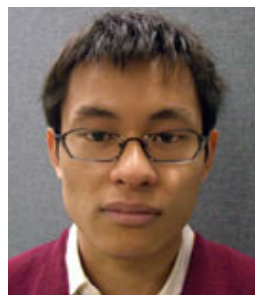
2008年 卒業制作展前期 展示風景



<http://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/~sotsuten/2008/>



## 図書館情報メディア研究科について



川原 三嗣 (図書館情報メディア研究科  
博士前期課程 1年)

### 図書館情報メディア研究科？

図書館情報メディア研究科の紹介の前にまず、私の研究室について紹介します。自分は現在、音声・音響についての研究を扱う田中研究室に所属しています。うちの研究室は本研究科の中では異端です。しかし、本研究科に所属する研究室の半分以上は「うちの研究室は異端」と思っているのではないのでしょうか。試しに本研究科HPの教員紹介のページ ([http://www.slis.tsukuba.ac.jp/grad/research/staff\\_j.html](http://www.slis.tsukuba.ac.jp/grad/research/staff_j.html)) を見てみて下さい。ざっと見て、「なるほど！図書館情報メディア研ではこういうことを研究しているのか！」と合点いく方は、おそらくいないでしょう。

この記事ではそんな図書館情報メディア研究科について紹介しなければなりません。なかなか難しい課題です。

### 図書館情報学？

本研究科では図書館情報学という学問を扱います。図書館情報学とはWikipediaによると「あらゆる「情報」の生成、蓄積、利用に関する諸問題を扱う学問」のこと。さらに言えば「図書館学と情報学を融合・発展させた学問分野であり、図書館および情報に関するさまざまな課題を研究領域としている」のです。

私は学群時代の4年間も春日キャンパスで過ごした生え抜きの『図情生』ですが、院生になってからというもの、生活の大半は自分の研究ですので、今自分は「図書館情報学をやっている」というよりも「情報学をやっている」という方がしっくりきます。実際、修士の学位は3種類から自分で選べるので、このまうまいこと修士課程を終えれば、『図書館情報学』ではなく『情報学』の修士を得ることになります。ちなみに学群卒業時は『図書館情報学』の学位を得ました。

思うに図書館情報学はかなりメタな概念なのだと思います。その枠組みに入るものはすべ

て、図書館情報学なのです。つまり、図書館情報学の下に図書館学、情報学をはじめとする多くの学問がぶら下がっているわけです。

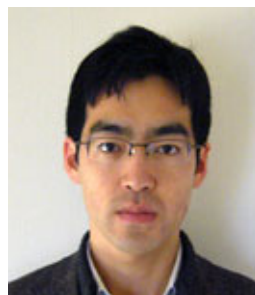
### 図書館情報メディア研究科！

そんな図書館情報学の概念に従い様々な研究室が軒を連ねるのが、我が図書館情報メディア研究科です。「あらゆる「情報」の生成、蓄積、利用に関する諸問題を扱う学問」である以上、図書館の研究、情報をうまく分類・検索するための研究、図書館での計算機利用につながるネットワーク・データベースの研究などはもちろんのこと、情報を扱う計算機のアルゴリズムや記録媒体の研究、そして音声処理の研究なども本研究科には必要な研究なのです。ただし、それらの研究を行う先生方にはそれぞれの人生があって、研究生活の最初から『図書館情報メディア研究科』なるものを意識していたわけではないでしょう。そんなわけで、本研究科に所属するにあたり「うちの研究室は異端」という思考を禁じ得ないのです。

最後に自分の話をします。なぜなら、私は結構本研究科的人間だと思っただけです。私は高校時代文系で、図書館司書というものに興味があって本学に入学しました。しかし、本学で様々な学問について広く浅く学んでいるうちに音声処理に興味を持ち現在の研究室を選択しました。理系の研究室なので当然、数学・物理の知識、工学的スキルが求められます。毎日が苦労の連続ですが、なんとか卒論を書き、学会発表も経験しました。文系人間が理系研究室で四苦八苦しながら研究する、それが可能という雰囲気こそ本研究科の最大の特徴のような気がします。

## 心躍る瞬間に出会う

近藤 剛弘 (平成10年度第三学群基礎工学類卒業  
平成14年度博士課程工学研究科修了)



私は筑波大学の工学研究科で博士号を取得した後、理化学研究所で4年間博士研究員として研究活動を行い、昨年4月に筑波大学の助教として戻って参りました。

幸運なことに今日に到るまでに、様々なタイプの素晴らしい人達に出会うことができ、多くのことを学んできました。この中で、私が大学生や大学院生時代に早く知ることができたら良かったと思うこと(経験的に大事だと感じて今現在、心掛けて努力している事柄)を3点紹介させていただきますと思います。

### (1) 前向きに考える

どの世界でも、自分の能力だけでは対処できない問題や、理不尽で不公平なこと、どう考えても納得できないこと、極めて非論理的な事象などに向かい合わなければならない状況が訪れると思います。このようなとき、対処方法は様々に考えられますが、一番大事なことは、まず前向きに考えることだと思います。

目の前に高く厚い大きな壁が現れたとします。その時、自己研鑽する良い機会に恵まれたと考えるのです。若い時期は可能性が高いはずですが。物事に対する柔軟性とそれに向かう強い意志を鍛えることができるはずですが。自分を向上できるラッキーな状況なのです。

この際、自分の周りに、相談できる人がいるとよいと思います。加えて、自分の弱点を露骨に指摘してくれる人がいるとさらに恵まれていると思います。言わなくてもいいのに、わざわざ嫌な思いをするようなことを指摘してくれる人のことです。これは大変貴重な人材です。貴重な指摘を受け流さずに、受け止めて考えることです。

幾多の壁を乗り越えていけば、きっと新たに現れる壁を早々に処理して改善するような技術を、身につけていけるようになると思います。

### (2) 自分自身と向き合う

自分自身が置かれた環境を他人と比べ始めるときりがありません。従って自分の置かれた状況を理解しつつも、他者との比較ではなく自分自身と向き合い、前向きに取り組むことが大事だと思います。

評価基準を自分自身に定めて、自分自身と比較することで、周囲の人とのコミュニケーションは柔軟となり、愚かで醜い嫉妬や大局的には中途半端なのに満足するといったことがなくなり、自己研鑽が可能になると思います。

### (3) 心躍る瞬間に出会う

前向きに目の前の壁に立ち向かって取り組んでいると、他人にはどうでもいいように思える小さいことでも「今、この瞬間がすごく面白くてたまらない。生きていて良かった」と思える、心躍る瞬間がたまに訪れることがあります。

私の場合は実験が中心の研究生活を送っていたので「今この実験結果を目の前にしているのは、世界でただ一人自分だけだ」といったことが加わり、さらに、心が躍る瞬間が何度かありました。苦労した末の達成感だったり、偶然の産物だったりするわけですが(一時的な錯覚に過ぎなかったといったこともあります)、少なくとも、こういった瞬間が存在するということを知っているだけでも、常に目の前に現れる様々な壁に対して、前向きに自分自身と向き合って自己研鑽する意義があると思います。

以上は私がこれまでの経験に基づいて、大事だと考えている項目に過ぎません。したがって後日、色々と改善していくことになるかもしれません。

しかし「前向きな姿勢で日々を臨む」ということは変わらぬ良いことと考えています。

## 美術館での仕事と在学中の思い出

渡邊 晃 (平成10年度芸術専門学群卒業  
平成17年度博士課程芸術学研究科  
芸術学専攻修了  
太田記念美術館学芸部勤務)



### 現在の仕事

私は平成17年3月に筑波大学大学院芸術学研究科の博士課程を修了し、博士特別研究員、八潮市立資料館での勤務を経て、昨年4月より太田記念美術館の学芸部で働いています。

太田記念美術館は、故太田清蔵氏(1893-1977)が戦前から半世紀以上にわたって収集した1万2千点以上に及ぶ浮世絵コレクションを所蔵する美術館です。1980年原宿にオープンし、現在に至っています。開館以来ほぼ毎月展示替えを行い、さまざまな企画展を開催しています。

仕事の内容は多岐にわたりますが、メインとなるのは展示に関わる作業です。出品する作品の選定、展示テーマや個々の作品に関わる調査研究、展示解説の執筆、マスコミ向けのプレスリリースの執筆などが主な仕事です。また展示パネル、ポスターのデザインや、会場での展示作業にも関わります。その他、研究紀要への論文の執筆、入館者への口頭解説、ポジフィルム管理など、多くの仕事があります。

### 学生時代の思い出

大学院時代は、日本美術史研究室に所属し、日本美術史に関わるさまざまなことを学びました。研究室ではそれぞれが専攻するテーマとは別に、仏教美術や狩野派の水墨画、儒教に関わる美術など、幅広い領域での学術調査や共同研究が行われており、少しでも時間的余裕がある学生は、積極的に参加するという仕組みになっていました。

主専攻と平行して共同研究を行うのは大変でしたが、広い時代や分野を勉強することで、様々な業績や経験を積むことができ、後の就職活動の時に大変役立ちました。また、それらの知識や経験が個々の研究を深めることにも還元されていると感じます。同じ研究室の学生たちと様々な苦勞をともにしたことも、良い思い出のひとつです。

私の場合は、基本的な調査研究の姿勢を学ぶ一方、筑波大学付属図書館主催の展覧会で展示作業に関わったり、カタログやポスター、研究誌などの編集・デザインに携わったりと、実務的な作業において非常に多くの経験を積むことができました。これらの多くは手間や忍耐が必要とされる作業でしたが、このとき苦労したことが、現在仕事をする上で大変役に立っており、本当に良かったと思っています。

### 就職活動について

最近の研究職や学芸員の就職が大変厳しくなっています。私も就職の面では苦労し、結構な数の就職試験を受けました。多くが非常勤職員の募集という厳しい状況でしたが、インターネットや大学の掲示板で情報を得ては、関東、地方に関わらずたくさん受験しに行きました。

その際に痛感したのは、自分の長所を伝えることの難しさです。自分を客観的に見て、どの分野にどの程度の能力があるかを正確に見極めること、それらの特徴を簡潔にまとめることは意外に難しいものです。また、そのイメージを面接官に伝え、理解してもらうことはさらに難しいと感じました。面接官は、一時期に多くの受験生を見るので、履歴書や業績調書に書いたことでも、うまく伝わっていないことがよくありました。

基本的には、遠慮していても面接官はこちらの良さは理解してくれませんので、自分の能力や長所を過不足なく、簡潔に伝えきると意識が、応募書類においても、面接においても大切だと思います。また、非常勤職員でしたら、必ず雇用に何年かの期限がありますので、募集内容が自分の専攻と多少異なっても、積極的に応募して実務経験を積むことが将来の正式採用につながると思います。

## 「ハチミツとクローバー」と大学生

松井 めぐみ（保健管理センター 心理学系 助教）

### 「ハチミツとクローバー」とは

みなさん、「ハチミツとクローバー」をご存知ですか？羽海野チカという人が描いたマンガ（全10巻）で、美大に通う5人の学生を中心に物語が展開されていきます。アニメ化、映画化に続いて現在ドラマ化もされており、映画は筑波大学でもロケが行われたので、ご存知の方も多いでしょう。ちなみに私がこのマンガに出会ったのは、市立図書館で何気なく第1巻を手にとったのが始まりです。そのときは続きがあったら読もうかなと思う程度だったのですが、数年前、ちょっと落ち込んでいるときにたまたま続きを読む機会があって、はまってしまいました。巻が進むにつれ、強さと弱さとやさしさと様々な想いに、心が静かに揺さぶられるような感じがして、とても素敵な作品だと思います。

### 自分探し？の旅

この作品には様々なエピソードが出てきますが、私が最も大学生らしいなと思ったのは、「竹本君」という学生が自転車で東京から北海道まで旅をする部分です。竹本君は一留して大学生生活5年目になっているのに、就職が決まらず、恋愛や才能に関してもいろいろ煮詰まってしまう、ある日唐突に自転車をがむしゃらに走らせて海に辿り着きます。彼は別に旅に出るつもりだったわけではないのですが、結局そのまま北海道まで自転車で行き、旅の途中でいろいろな人に出会い、また戻ってきます。この時、周りの人はみな彼が「自分探しの旅」に出たと捉えています。竹本君自身はそう言われても「自分は何かを探しているわけでは…。」と困惑し、むしろ何で自分は飛び出してきたんだろうと考えています。この竹本君というキャラクターは、まじめで正直で人を思いやることの

できる、とてもいい子なのですが、他の登場人物達と比べて自分は特に抜きん出た才能や個性を持っているわけではないと思っている、ごく「普通」の学生です。おそらく筑波大学にもこういう感じの学生はたくさんいるでしょう。何者でもない自分、そして自分がどうしたいのかわかなくて、時間がどんどん流れていく…。結局竹本君は戻ってきたとき、みんなに何を気づかされたのか？と訊かれても、「まさに手ぶらで帰ってきました」と答えています。でも彼はその旅を通して確実にたくましくなり、やりたいと思う仕事と出会うことができます。正直言って、私は「自分探し」というものがどうもよくわからなくて、別の登場人物が言う「なんでわざわざ探す必要があるんだ？自分は自分じゃないのか？」というセリフの方がなるほどと思うのですが、それでもやり方はどうであれ、多くの学生さんが（必ずしも大学時代でなくてもいいと思いますが）自分の道を見つけられることを願っています。

### 恋愛について

この作品でもう1つ触れておきたいのが、登場人物達の恋愛です。どの恋もありきたちのハッピーエンドでは終わらず、実らなかった想いもあります。恋愛はどれだけ自分が相手を想っていてもどうにもならない場合があり、どうにもならないと分かっているのに諦めることができない…。物語の中を流れる5年という年月の中で、いくつかの出来事があり、登場人物たちはそれぞれの想いに一応の区切りをつけていきます。恋愛に正解はないと思いますが、みなさんが相手のことを心から大切に思い、たとえ実らなかったとしても、「君を好きになって良かった」と思える恋ができるといいなと思います。



ひとりで悩まず 保健管理センターへ

保健管理センター受付 029(853)2410

学生相談室受付 029(853)2415

# 新しい友達作りませんか

保健管理センター学生相談室

## 「エンカウンターグループ」って知ってる？

### ☆学生相談室が主催です

みなさんは、自分自身のことや将来のことについてもっと深く考えたい、考えたことを本音で話し合いたい、新しい人間関係を作りたい、と思ったことはありませんか？

話し合ってみたい、新しい友だちがほしいと思っているみなさんのために、学生相談室では毎年2泊3日のグループ合宿をおこなっています。相談室のカウンセラーも一緒にグループワークに参加します。

興味のある方は、どうぞお気軽に参加してみてください。

**期 間：**3月11日（火）～13日（木）

**場 所：**茨城県立中央青年の家（土浦市）

**人 数：**20名（男女約半数ずつ）

**費 用：**5,000円

**申 込 先：**学生相談室受付（☎029-853-2415）  
webでも事前説明の予約ができます。右下のバーコードから。

**締 切：**2月26日（火）（変更になりました）  
定員になり次第締め切ります。

**スタッフ：**杉江 征 佐藤 純  
松井めぐみ 他

セミナーの内容は、主として構成的エンカウンターグループ方式を採用します。構成的エンカウンターグループとは、決められたグループワークを通して、その時の気持ちや考えを率直に語り合い、それをお互いに認め合う体験をするものです。自己紹介から始まって自然にお互いのことを知り合い、親しみが増すようなグループワークを考えています。遊びながら、楽しみながら、いつのまにか友だちのこと、そして自分のことが分かってきます。

今までに同様の合宿を30回実施してきました。その中から、最近の参加者の感想文を一部ご紹介します（本人の了承済み）。

■「エンカウンターの名の通り、私はこの合

宿で他者と出会い、そして自分と出会えたのだと思います。初対面の人々と数々のセッションをこなしていく中で、他者とコミュニケーションをとり、意見を交換していくことによってこそ、自分を深く知ることができるのだと気がきました。

下界から隔絶された山の上での3日間は、非常に貴重な経験でした。仮の名で呼び合う人々と四六時中一緒に過ごすという特異な状況で、しかも生活サイクルも日常とはかけ離れた規則正しいものであったので、この合宿は過ごしていく日常の中の大きな刺激になりました。早朝に部屋の窓から見た美しい景色は、記憶に深く刻まれています」（Yさん、男性）。

■「エンカウンターグループに参加することで多くのものを得ることができたと思う。まず、自分の性格や悩みを開示することで、日常生活では滅多にない、人生相談のような深い会話を自然に行うことができた。他者と考えや悩みを共有することで、自らの世界認識を広げ、多様な価値観への理解がさらに深まった。また、自分の考えを口に出す機会が必然的に得られたため、意見を論理的に述べる練習にもなった。私は、常日頃から、他人と、当たり障りのない会話だけでなく、互いの考えを述べつつ議論したいと考えていたので、今回の企画は良い経験となったと思った。

多くの人と出会えたことも良い経験の一つだ。恐らく大部分の人とは二度と会うことはないだろうが、限られた時間の中で親しくなることができ大変よかったと思う」（Oさん、女性）。



事前説明の予約はこちらから

# 第12回茗溪・筑波グランドフェスティバルについて

宮澤 和樹 (茗溪・筑波グランドフェスティバル学生委員長  
比較文化学類 2年)

第12回茗溪・筑波グランドフェスティバルは、1月26日、筑波大学の大学会館および第一エリア食堂で開催されました。本学と前身諸学校の卒業生と在学生の交流の場として発足したフェスティバルも12回目を迎え、従来の大会より充実した企画を準備し、参加者の方々に楽しんでいただきました。

シンポジウム「創造力を育む」は大学会館ホールにおいて行われ、新たな試みである体験型企画「筑波大学の先端技術」の展示は総合交流会館を中心に開催されました。また、懇親会は第一エリア食堂で行われました。

シンポジウムは、基調講演とパネルディスカッションの二部構成になっています。

基調講演では、株式会社ポケモン代表取締役社長石原恒和氏にポケモンのデザイン戦略について、ポケモンの設計・ポケモンビジネスの設計という二つの側面から詳しく話していただきました。パネルディスカッションでは、「創造力を育むためにはどうすればよいか」をテーマに、石原氏を含めた4名のパネリストに議論していただきました。

「論理的思考の放棄」が創造力につながるといった意見や、ビジョンを明確に持つこと、楽しんで物事に取り組むことで想像力を発揮できるなど、それぞれのパネリストの考えが示されました。参加者からは活発に質問が出され、シンポジウムは盛況のうちに締めくくられました。



シンポジウム「創造力を育む」の様子

総合交流会館で開催された「筑波大学の先端技術」の展示は大会初の体験型企画として多くの参加者を集めました。

多くの研究室に協力いただき、実際に触れる

機会が少ないロボットやコンピューターを総合交流会館に集合させました。参加者は興味津々にそれぞれの技術に見入り、実際に体験して、その技術に驚嘆していました。

今企画には学生の団体にも参加していただき、日頃の技術開発の成果を参加者に披露していました。



体験型企画の様子

懇親会は絶えず会話があふれる和やかなものとなり、参加者はおいしい料理とお酒を手に、友人や会場で知り合った方々と楽しい時間を過ごし、親睦を深め、交流の輪を広げていました。

今回は、これまで以上に豪華な食事に加えて、本学の農林技術センターで収穫された「紅あずま」がほかほかの石焼き芋として会場に運ばれ、懇親会の盛り上げ役となっていました。



懇親会の様子

次回の大会でも工夫を凝らしたさまざまな企画やおいしい料理とお酒で楽しめる懇親会を用意いたします。詳しい内容が決まりしだい、Webページ (<http://www.mtgf.net/>) や学内の広報誌にてお知らせいたします。今回参加できなかった方も、次回ぜひお越しください。

# つくばでエコライフ

## ✿ 新入生へ新生活用品を！ ✿

私たちは全学学類・専門学群代表者会議のワーキンググループです。エコサイクルでは、不用になった家具・家電を回収し、新入生に提供し再利用してもらう活動をしています。「リユース（再使用）」「リデュース（消費の減少）」「リサイクル（再循環）」そして、「リスペクト（ものを尊重する心）」の「3R+1」を基本概念としています。使わなくなった家具・家電を新入生に。人から人へと、「もの」を繋いでいく。あなたの生活を支えた家具・家電が、また誰かの生活を支えます。対象品目をお持ちの方で手放したいと思っている方は、以下の日程で引き取りますので持参してください。

**対象品目：**電子レンジ・電気スタンド・オーブントースター・薄型テレビ・電磁（IH）調理器・ドライヤー・電気ポット・炊飯器・電気ヒーター・扇風機・ミニコンボ・小型掃除機・冷蔵庫（1998年以降製造のものに限る）・ラック…その他持ち運びが困難でない日用品・家具・家電など

**回収不能物品：**情報機器（パソコン・プリンタなど）・洗濯機・エアコン・1998年以前製造の冷蔵庫・大きさ目安（幅1m、奥行き40cm程度）以上の物品。大きさ超過の場合は、ご連絡を頂ければ個別に対応致します。ただしその場合、引き取りをお断りすることがあります。あらかじめご了承ください。

**注意事項：**新入生に使ってもらうのにふさわしい、一定の品質が保たれているものを対象とします。機能・外観に問題がある場合は引き取りをお断りし、提供者に返却します。

ご質問・ご連絡などがありましたらお気軽に下記のアドレスまでメールしてください。

メールアドレス：[ecocycle0708@yahoo.co.jp](mailto:ecocycle0708@yahoo.co.jp)



Webアドレス：<http://www.stb.tsukuba.ac.jp/~zdk/ecocycle/>



**物品回収日：**3月8日、9日、15日、16日、22日、23日、27日、28日、29日、30日  
各回収日以外を希望する方は個別に対応いたします。

**受付時間：**9時～16時の間です。冷蔵庫に関しては動作確認の都合午前中のみのお受けとします。

**引き取り場所：**平砂・追越・一の矢・春日各共用棟

前日までにエコサイクルに連絡をして頂いた場合、軽トラックや車での引き取りも行います。

主催 3R+ 1 ecocycle07-08

共催 筑波大学学生部





平成20年2月  
保健管理センター

## 学生の定期健康診断及び麻疹（はしか）の抗体検査の実施について

平成20年度に実施する教育実習（特別支援教育実習を含む）及び介護体験を履修する学生に対し、定期健康診断と麻疹（はしか）の抗体検査、並びに例年行っている医学類及び看護・医療科学類の学生の定期健康診断を下記により実施します。

なお、別途掲示を行うので、受診にあたっては必ず掲示を参照してください。

### 1. 日程表

実施日	受付時間	健康診断及び麻疹（はしか）の抗体検査を実施する学群等
2月27日（水）	9：00～10：30	第一学群，第二学群，人文・文化学群，社会・国際学群，人間学群，生命環境学群，教育研究科
	13：00～14：30	第一学群，第二学群，人文・文化学群，社会・国際学群，人間学群，生命環境学群，教育研究科
2月28日（木）	9：00～10：30	医学類，第三学群，図書館情報専門学群，理工学群，情報学群
	13：00～14：30	看護・医療科学類，第三学群，図書館情報専門学群，理工学群，情報学群
2月29日（金）	9：00～10：30	体育専門学群，芸術専門学群
	13：00～14：30	体育専門学群，芸術専門学群

- 健診受付場所：大学会館2階ホワイエ（受付をしてから健康診断を受けてください）。  
学生証を持参のうえ指定された日時に受診してください。なお、どうしても都合の悪い場合は、期間中のいずれかの日に必ず受診してください。
- 医学類及び看護・医療科学類の学生は麻疹（はしか）の抗体検査は行いません。**
- 健診受診場所：大学会館，保健管理センター
- 検尿容器は保健管理センター，スチューデントプラザ（2階学生控室）に用意しておきますので、事前に受け取り，受診当日の起床時の尿を持参してください。  
また，医学類，看護・医療科学類の学生は医学支援室に，図書館情報専門学群は図書支援室に検尿容器を用意しますので，受け取ってください。
- 胸部X線撮影（結核の有無の検査）は教育実習，介護体験，臨床実習等を行う際に，当該検査結果を含む健康診断書の提出を求められるため，必ず受診してください。
- 健康診断結果については，再検査の必要がある学生にのみ連絡します。
- 未受診者には健康診断書，証明書の発行ができませんので，必ず受診してください。
- 今回の健康診断を受診した学生は，例年4月に実施されている健康診断（次ページ参照）を受診する必要はありません。**
- 健康診断に関して不明の点があるときは，保健管理センターにお問い合わせください。



平成20年度 学生定期健康診断日程表 (4月14日～24日)

Table with columns for implementation date, time, and various academic groups (First, Second, Third, etc.) and their respective counts.

※数字は年次を表す。

(注意事項)

- 1. 受付場所は大会館講堂2階ホワイエです。なお、学群新入生は指定の時間までに大会館3階ホールに集合してください。
2. 学生証を持参のうえ指定された日時に受診してください。なお、どうしても都合の悪い場合は、期間中のいずれかの日に必ず受診してください。
3. 研究生、特別聴講学生、特別研究学生及び科目履修生は、各々の所属する研究科又は学類の実施日に受診してください。
4. 検尿容器は、4月1日以降各支援室(学生支援又は教務担当)に用意しておきますので、事前に受け取り、受診当日の起床時の尿を持参してください。(検尿容器は健診会場には用意してありませんので、忘れたい人は各支援室で受け取ってください)
5. 胸部X線撮影(結核の有無の検査)は、法令上、第一学年のみ(本学では学群新入生の他、大学院1年生及び他大学からの新規編入学生も含む)が対象とされていますが、咳、痰、胸痛、息切れ等の胸部病状のある学生は必ず受診してください。また、教育実習、臨床実習、介護実習等を行う際や就職その他の活動で、当該検査結果を含む健康診断書の提出を求められることが多いので、それらの学外実習・活動を予定している学生も受診するようにしてください。なお、受診する場合は、無地のTシャツ等を持参するか、着用してきてください。健康診断結果については、再検査の必要がある学生にのみ連絡します。
7. 未受診者には健康診断書、証明書の発行ができませんので必ず受診してください。
8. 2月に健康診断を受診した学生は今回の健康診断を受診する必要はありません。
9. 健康診断に関して不明の点があるときは、保健管理センターにお問い合わせください。
10. 東京キャンパスの大学院生については、東京キャンパスの職員健康診断時にも受診ができるように配慮します。なお、受診の日程等については、別途周知します。



## 「卒業証明書（和文）」、「成績・卒業証明書（和文）」の交付について

学務部学務課

学群の平成19年度（平成20年3月25日付け）卒業生に対し、下記のとおり「卒業証明書」及び「成績・卒業証明書」を大学から交付します。

なお、医学類生については「卒業証明書」のみとなります。

**交付日**：3月25日（火）卒業式当日

**交付場所**：各支援室 学群教務担当

**交付証明書**：卒業証明書（和文） 1通  
成績・卒業証明書（和文） 1通

### 【注意事項】

(1) 上記の部数を超えて証明書を必要とする方は、3月13日（木）までに当該支援室学群教務担当へ申請してください（卒業式当日、上記の証明書と同時に交付）。

(2) 下表の証明書については、卒業式当日には交付できませんので学務部学務課成績管理・システム担当（本部棟2階）へ直接申請してください。

証明書は、3月25日の卒業日から起算して下表の所要日数をもって交付となりますので、十分留意願います。

なお、年度末・年度初めは、年度更新作業等で証明書発行に必要なシステムの利用を一時停止することや、証明書の発行申請が集中することから、所要日数より若干遅れる場合があります。また、就職等の関係で証明書を所要日数よりも早く必要とする方は、適宜相談に応じますので、直接窓口申し出てください。

種 類	交付までの所要日数
英文卒業証明書	1週間
英文成績証明書	2週間
基礎資格・単位修得証明書（教育職員免許状取得用）	3週間
単位修得証明書（社会教育主事用）	3週間
単位修得証明書（学芸員用）	3週間

(3) 卒業式当日以降において各種証明書を必要とする方は、学務部学務課成績管理・システム担当へ申請してください。

## カンニングは不正行為！

期末試験における不正行為は、「筑波大学学群試験実施要項」に基づき、当該授業科目の受験が無効となるばかりか、学則に基づき、懲戒処分の対象となります。

安易な気持ちでカンニングすると、その結果、全学に懲戒内容と、行為者の氏名が掲示され、卒業も延期になってしまいます。

学生諸君は、誇りと自覚を持って、期末試験に臨んでください。

副学長（学生生活）

腰塚 武志



## 平成19年度「つくばマイスターフォーラム」のお知らせ

筑波大学は市民向けの「マイスター育成講座」と学生向けの「インターンシップ」科目を平成18年度より開設しました。この講座は、つくば市との連携のもと、食・環境・芸術の各分野での市民リーダーの育成を目指すとともに、インターンとして運営に参加する学生の社会貢献マインドを養い、市民・学生・大学による新しい学びの共同体を提案していくものです。

今回開催する「つくばマイスターフォーラム」では、同講座の取り組み成果を紹介するとともに、市民と学生の皆さんとの交流の機会を提供します。また、あわせて次年度の「食と緑のインターンシップ」に関する説明や個別相談、応募受付も行います。多くの皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

**日 時**：3月1日（土）10：00～17：00

**場 所**：筑波大学大学会館 総合交流会館

■10：00～16：00 総合交流会館（大学会館前バス停そば）

マイスター育成講座参加者による研究成果や美術作品等を展示します。

■マイスター育成講座相談窓口 10：00～12：00, 16：00～17：00 総合交流会館玄関ロビー  
次年度の「食と緑のマイスター講座」についての個別相談や申し込み受付を行います。

■パネルディスカッション 13：15～16：00 ホール（大学会館3F）

マイスター育成講座の活動内容について、市民受講生・学生受講生・担当教員・つくば市代表者による意見交換を行います。

**主 催**：筑波大学現代GP運営委員会（生物資源学類，農林技術センター，芸術専門学群）

**共 催**：つくば市

**後 援**：つくば市教育委員会

**連絡先**：つくばマイスターフォーラム実施委員会事務局（筑波大学生物資源学類内）

☎029-853-6031 FAX 029-853-6031

メールアドレス ggps@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

ホームページ <http://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/~gendaigp>

## 2016年東京オリンピック招致について考えてみませんか！

オリンピックやその招致の意義について「オリンピック選手からみたオリンピック」「オリンピック教育に込めるべきメッセージ」「東京オリンピック招致に向けた戦略や課題」についての話題提供を踏まえて、参加者とともに論議できればと考えています。学生の皆さんも奮ってご参加ください。

**テ ー マ**：2016年東京オリンピック招致について考える

**日 時**：3月8日（土）13:00～16:00

**会 場**：筑波大学春日キャンパス講堂

**対 象**：日本体育学会員，学生，一般市民

※参加無料

**シンポジスト**：本間三和子（筑波大学），岡出美則（筑波大学），河野一郎（東京オリンピック招致委員会事務総長）

**主 催**：日本体育学会茨城支部

**共 催**：筑波大学ほか

**問合せ先**：人間総合科学研究科 尾縣 貢 mitsugu@taiiku.tsukuba.ac.jp



●本部管理棟（低層棟）2階（学務部）のループ道路側出入口の開錠時間について

本部管理棟（低層棟）2階（学務部）のループ道路側の出入口の開錠時間を平成20年3月1日（土）から、次のとおりとさせていただきます。  
開錠時間：月～金 8：30～17：15

※土・日・祝祭日 施錠（終日）

これは、本部管理棟の出入口は通常、17：15以降、警備員が配置されている出入口以外は施錠管理が行われていることから、建物管理上、同様の措置とするものです。

なお、上記以外の時間帯に本部管理棟を利用される方は、低層棟1階出入口（防災センター前）をご利用ください。

問合せ先：学務部学務課総務係  
（☎029-853-2204, 2205）

●附属図書館からのお知らせ

春季休業期間中の開館時間及び図書の貸出期間は次のようになります。

○開館時間及び貸出受付時間

	期間	開館時間	貸出受付時間
中央図書館 体芸図書館 図情図書館	3/7～4/7	9:00～17:00	9:00～16:30
医学図書館		9:00～20:00	9:00～19:30

\*中央図書館・体芸図書館・医学図書館・図情図書館は、土曜日・日曜日・祝日は閉館します。

\*大塚図書館は、春季休業期間中も平常期間と同様に開館いたします。

○貸出期間（全館共通）

3月7日（金）から3月27日（木）までの間に一般貸出および更新を受けた図書（休館中はWebから更新を行った場合）の貸出期間は、平成19年度卒業・修了予定者及び科目等履修生・研究生等を除き、通常の3週間より長くなります（[表1]参照）。返却期限を確認し、延滞のないように注意してください。

平成19年度卒業・修了予定者及び科目等履修生・研究生等の方は、3月31日（月）まで図書を借りることができますが、31日（月）までに借りているすべての図書をご返却くださるようお願いいたします（[表2]参照）。

[表1] 学群学生・大学院学生（平成19年度卒業・修了予定者を除く）

貸出日	3/7～ 3/11	3/12・ 3/13	3/14～ 3/18	3/19～ 3/24	3/25～ 3/27
返却日	4/11	4/14	4/15	4/16	4/17

[表2] 平成19年度卒業・修了予定者及び学生証の有効期限が3月末日までの科目等履修生・研究生等

貸出日	3/7～3/31
返却日	3/31

なお、最終年次の学群生及び大学院生で、留年等の理由により来年度も現在と同じ身分のまま在籍する予定の方は、[表1]のとおり貸出が受けられます。月曜日から金曜日の9:00～17:00（大塚図書館は開館時間中）に各館のメインカウンターまでお申し出ください。

不明な点がありましたら、各館のメインカウンターまでお問い合わせください。

中央図書館 ☎029-853-6055

体芸図書館 ☎029-853-2878

医学図書館 ☎029-853-3256

図情図書館 ☎029-859-1232

大塚図書館 ☎03-3942-6818

●中央広場ペDESTリアン改修工事のお知らせ

次の日程により中央広場ペDESTリアンデッキの舗装タイルの張替を行いますので、よろしく周知方お願いします。

工事中の中央広場は充分ご注意のうえ通行して下さい。

仮 囲 い：2月12日から3月19日

既設舗装タイル 撤去工事：

2月14日から3月11日

騒音発生工事 下記日程は禁止する。

2月22日（外国語ヒアリング）

2月25, 26日（前期学力試験）

3月3～7日（期末試験）

3月12日（後期学力試験）

舗装下地調整工事：

2月21日から3月13日

舗装タイル貼り工事：

3月1日から3月18日

工事工程表及び工事範囲位置図は施設部ホームページをご覧ください。

問合せ先：

施設部 施設環境課 屋外環境整備係

（☎029-853-2325, 2326）／

補佐（☎029-853-2321）

●健康診断証明書の自動証明書発行端末からの交付について

自動証明書発行端末での健康診断証明書の交付が1月29日から各支援室で可能となりましたのでお知らせいたします。予定より大変遅れ、申し訳ありませんでした。

いままで保健管理センターに申請し2日後に受取りとなっていたものが、その場で受け取ることができ、大変便利になりました。

指定された様式の診断証明書、診断が必要な対抗試合等の診断証明書は従来通り保健管理センターで交付となりますので注意願います。

（保健管理センター）

# 平成19年度 彫塑展

芸術専門学群彫塑コース

大学院修士課程芸術研究科彫塑分野

大学院博士課程人間総合科学研究科彫塑領域学生による展覧会のご案内

開催期間：3月13日（木）～18日（火）

会場：文化シャッター BXビル 2F BXホール  
東京都文京区西片1-17-3

開館時間：11：00～18：30

会期中企画：

・トークイベント：3月16日（日）14：00～16：00

彫刻家 池川 直氏（鹿児島大学教授、日展会員）による全作品の講評を行います。

・タッチツアー：視覚障害者の方々には触れて鑑賞をして頂いています。

この展覧会は、芸術専門学群および大学院の彫塑コース・領域で、教育・学習・研究成果をそれぞれの立場から問うことを主眼に、あわせて、教育の一環として、展覧会の開催に関わる企画・運営等の実務を経験することを目的として毎年開催されているものです。

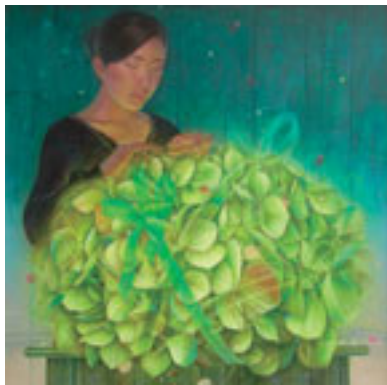
第9回目を迎えた今回は、彫刻科 池川 直氏（鹿児島大学教授、日展会員）を招いて全出品作品の講評会を企画いたしました。池川氏は芸術研究科彫塑分野の修了生でもあります。その他の企画として、視覚障害者のための鑑賞の手引きなども行います。

より多くの方にご高覧頂き、今後の制作の糧としたいと思います。皆様のご来場をお待ちいたしております。

問合せ先：芸術学系彫塑研究室 ☎029-853-2844



2007年彫塑展展示風景



加藤隆之「月齡」  
第19回しんわ美術展  
銀賞



池田真理子「もうすぐ」  
第19回しんわ美術展  
奨励賞



星美加「遠い記憶」  
第19回しんわ美術展  
努力賞



池田真理子「border」  
第39回日展  
入選



岸本真哉「林の中の象のように」  
第39回日展  
入選



北野明子「温」  
第39回日展  
入選



森英頭「閑話休題」  
第39回日展  
入選



宮坂横司「雨の端」  
第39回日展  
入選



三政洋一「扉」  
第39回日展  
入選

## 展覧会より

先月号に続き、人間総合科学研究科（芸術）、芸術研究科所属の学生の中から、公募展、コンクール等への入選・入賞作品をご紹介します。本学の学生は、精力的に制作研究に取り組み、対外的に高い評価を得ています。



山田歩「〜マーブル「くるみ割り人形」より〜」  
横浜ダンスコレクションR2008  
横浜ソロメデュオ<Compétition>



イノウエみゆき「もり」  
アーツチャレンジ2008（第2回）  
入選



イノウエみゆき「パンをひたすらちぎり並べる」  
第11回岡本太郎現代芸術賞  
入選